

2016 年 4 月 23 日

ほしぞらサロン 3 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2016 年 3 月 26 日（土）

19:00～22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：砂田、宮田

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計 6 名）

1. 4 月 16 日（土）ほしぞら友の会について

4 月 16 日には、第 3 期（2016 年度）の、ほしぞら友の会「第 1 回オリエンテーション」が行われます。そのときの流れについて、職員の角田から簡単に説明がありました。

角田

現在 9 人応募が来ており、来年度も 1 年間（12 回）を予定しています。オリエンテーション当日は、1 年間の流れの説明と早見盤や日食メガネを配布しての説明を行います。時間は 9:30～11:00 で、スタッフの集合時間は 9:00 を予定しています。場所はプラネタリウムで行います。

2. 5月7日（土）のほしぞらウォッチング「春の星座・木星」について

5月7日（土）に、ほしぞらウォッチングが行われます。そのときの観望対象や使用機材について具体的に話し合いを進めていきました。

- 当日の予定

19：30～20：00 プラネタリウムでの解説

20：00～21：00 観望会（場所：アクアドーム前広場）

- 観望対象および使用機材について

角田

当日、19：30 ごろ木星の高度は 65° ぐらい、方位は真南付近。

火星もできれば考えたい。

火星は 20：30 ごろ真東より少し南へ 30° ぐらい、高度はほぼ 0° なので難しいかもしれないが。

小野田

（観望会の）最後の最後あたりで見ることができたらラッキーぐらいで思っておいた方がいいのではないかな。

角田

（アクアドーム前から東の方向に見える）山が 2° 。火星はちょうど明るい時期なので、もしかすると見えるかもしれない。

宮田

20：50 で（火星の高度は） 2.8° くらい。（観望会終了の）最後の 10 分で山の付近にいる。

小野田

8 月に、火星のほしぞらウォッチングがある。

角田

その時期の火星はあまり明るくない。（ -1.7 等級→ -0.7 等級（ステラナビゲーターで山本調べ））

宮田

この日（5月7日）では、火星は心にとどめておく程度で良いのではないかな。
あくまでも木星を見せたい。

角田

当日、24 耐駅伝が行われているため多目的広場には電気が付いている。

火星が昇ってくる東の方向に広場があるため、やはり見えない。

角田

他には何を見せるか。

ミザール、アルコル、また、スピカなども良い。

小野田

春の夫婦星（アルクトゥールスとスピカ）を見せたい。

角田

木星は高倍率の望遠鏡と低倍率の望遠鏡の2種類で見せたい。

ちなみに去年5月のほしぞらウォッチングの来場者数は150人で、2回プラネタリウムで解説をしている。また、過去10年間の天気を調べてみると70%で晴れている。

砂田

多くの来場者が見込まれるのならば、見せる星がたくさんあるとあまりじっくりと見せることが出来ないのではないかな。望遠鏡でじっくりとみせてあげたい。

宮田

タカハシ2台とビクセン、双眼鏡の合計4台が理想。

砂田

低倍率と高倍率に分けなくてもいいかもしれない。

宮田

4台が全部同じ星を入れていてもいいのではないかな。

（その後、対象の天体を変更するなら、順次変更していく。）

角田

1回のプラネタリウム解説で納めることができる人数を超えた場合、約80人ずつの来場者が2回くるので、1回目の来場者が2回目の来場者が見終わるまでずっと待たなければならない。

最初から低倍率と高倍率に分けておくと、変更する手間が省ける。

例えば、120人以上ならば、いっせいに4台の望遠鏡を同じ天体に向け、120以下ならば、倍率を分けたものを用意しておく、といったようにしておく方が良いのではないかな。

今回の話し合いでは、主に木星を中心にみせていくことになりました。しかし、当日の参加スタッフ及び来場者数に応じて、望遠鏡の出す台数や、木星以外の見せる天体などを対応していく予定となっています。

次回のサロンでリーダーを決定し、詳細も決めていきます。

3. 4月からの活動について

4月からのほしぞらスタッフの活動予定について確認していききました。また今回は冬に行う観望会（特別観望会など）は、こういった時期がいいのか（月齢であったり、天気の良い日であったり）を話し合っていました。

- 今年度のほしぞらウォッチングの活動予定日

3月「冬の星空」

5月「24耐駅伝」

6月「太陽観察」

8月「土星・火星」

9月「お月見」

- 冬に行う観望会の日程について

宮田

冬の観望会（行うとすれば特別観望会も含む）について、2月上旬あたりで実施日にするとすれば、良い日はどこかあるだろうか？

角田

2月上旬あたりだと、5日が8割晴れている。月はその前日の4日が上弦の月。

今年のように、3月のほしぞらウォッチングは行うかどうか。

もし行うとすれば、天気の観点で見ると3月11日が例年晴れているが、12日が満月なので、星はみえにくいかもしれない。

逆に月の観点から考えると、3月19日ごろは状態が良いかもしれない。

砂田

冬だと、やはりすばるを見せたい。

3月に「すばるウォッチング」のようなものをするといいかもしれない。やはり、一般的にすばるは認知度が高い。それを見ることができたら自分も含めて嬉しい。

宮田

もし、特別観望会をやるとすれば、秋頃、10月や11月ごろでしてもいいかもしれない。

冬に行う観望会（ほしぞらウォッチング）の候補日として、現段階では3月18日に行う予定になりました。対象天体は、すばるを中心に、あとはオリオン大星雲も見せることができれば、ということになっています。

特別観望会も含めて、冬に行う観望会について今後少しずつ話しあっていく必要があります。

4. 今後の活動予定について

- 4月9日（土）望遠鏡メンテナンス 15：00～20：00 くらい
- 4月16日（土）ほしぞら友の会第1回「オリエンテーション」（9:30～）
- 4月23日（土）ほしぞらサロン
- 5月7日（土）ほしぞらウォッチング「24時間駆伝」

次回の「ほしぞらサロン」は、4月23日（土）です。